

採用施設一覧 (◎は基幹施設、○は連携施設)

◎多摩総合医療センター

○駒込病院
○神経病院

○小児総合医療センター

研修プログラムの特徴

- 多摩総合医療センター (基幹施設)
多摩総合医療センター耳鼻咽喉科専門研修プログラム

プログラム責任者：耳鼻咽喉科 中屋 宗雄 プログラム研修期間：4年

連携施設病院：駒込 / 神経 / 小児総合

虎の門病院 / NTT 東日本関東病院

耳鼻咽喉科医師としての人格の涵養に努め、耳、鼻・副鼻腔、口腔・咽頭・喉頭、頭頸部腫瘍の全ての診療分野において、幅広い知識と臨床能力を習得し、「国民に安全で安心な標準的医療を提供できる」耳鼻咽喉科専門医を育成することを目的とします。また、診療技能のみならず、学会発表や論文作成を通じ、科学者としての能力を取得することも目標とします。基幹研修施設である多摩総合医療センターを中心に、多摩総合医療センターに隣接する小児総合医療センター・神経病院と虎の門病院において、それぞれの特徴を生かした耳鼻咽喉科専門研修を行い、日耳鼻研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験します。4年間の研修修了時にはすべての領域の研修到達目標を達成し、4年間の研修中、認定されている学会において学会発表を少なくとも3回以上行います。また、筆頭著者として学術雑誌に1編以上の論文執筆・公表を行います。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	多摩総合医療センター											
2 年次	多摩総合医療センター						小児総合医療センター					
3 年次	多摩総合医療センター											
4 年次	多摩総合医療センター											



○ 多摩総合医療センターで研修可能なサブスペシャリティ領域

内分泌外科/
頭頸部がん

プログラム責任者：耳鼻咽喉科・頭頸部外科 中屋 宗雄 プログラム研修期間：4年

本コースでは内分泌外科学の専門的な知識と技能を高め、内分泌外科疾患の高度かつ専門的な知識と診療技能を有する者を養成することを目的とし、甲状腺腫瘍・副甲状腺腫瘍に対する高度の手術技能をもった内分泌外科専門医の取得が可能である。加えて、耳鼻咽喉科・頭頸部外科に関する熟練した技能と高度の専門知識とともに、がん治療の共通基盤となる基本的知識と技術、医療倫理を併せ持ち、頭頸部がんの集学的治療を実践する能力を養成し、頭頸部がん専門医の取得が可能コースである。当院での内分泌外科専門医2名・内分泌科指導医1名・頭頸部がん専門医4名・頭頸部がん指導医1名により内分泌外科学会および頭頸部外科学会の研修ガイドラインに則り十分な診療経験を有するに必要な数の症例を経験することができる。

● 駒込病院（連携施設）

指導医責任者：耳鼻咽喉科・頭頸部外科 杉本 太郎
 連携をしている基幹施設病院：多摩総合

当プログラムは、多摩総合医療センターを基幹研修施設とした「多摩総合医療センター耳鼻咽喉科専門研修プログラム」に属し、連携施設である駒込病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科を中心に研修を行うコースです。日本耳鼻咽喉科学会が定めた研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験し、耳鼻咽喉科専門医取得を目標とします。プログラムに定められた研修の評価は施設ごとに指導管理責任者、指導医、および専攻医が行い、プログラム責任者が最終評価を行います。4年間の研修修了時にはすべての領域の研修到達目標を達成し、4年間の研修中、認定されている学会において学会発表を少なくとも3回以上行います。また、筆頭著者として学術雑誌に1編以上の論文執筆・公表を行います。研修の評価や経験症例は日耳鼻が定めた方法でオンライン登録します。駒込病院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍外科の特徴としては、頭頸部癌に対する低侵襲な手術（経口的切除術、CO2 レーザ手術）から拡大切除+再建手術、IMRT を利用した化学放射線療法、分子標的薬治療、免疫チェックポイント阻害薬治療、緩和医療まで幅広い頭頸部癌診療を施行している事が挙げられます。拠点病院として多数の症例が集中し、特に食道癌と頭頸部癌の合併症例、甲状腺癌症例が多いです。また、耳鼻咽喉科領域感染症、鼻副鼻腔、咽喉頭領域の良性疾患の保存的治療や手術加療等も積極的に行っています。

研修コースモデル

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	駒込病院											
2 年次	駒込病院											
3 年次	多摩総合医療センター						駒込病院/多摩総合医療センター					
4 年次	駒込病院											



(医師アカデミー シニアレジデント合同発表会風景)



(多摩総合医療センター 合同発表会風景)